

第1回セミナー 4月23日セミナーリフレクション

講師：学び合う学び研究所フェロー 木村芳博先生

テーマ：「年度当初の学級づくり、授業づくり ～初任・少経験者、初心に返れる人～対象」

学級目標は、今年度、子どもの意見を聴きながら掲げることができました。その分、普段から学級目標を意識させることができる。そして、自分も意識していくことが学級目標を掲げる意図につながると感じました。

国語の授業では、なかなか「学び合い」というものがわかっていなかったが、今日のビデオを見せていただいたことで、少しやり方が見えました。自分の中の引き出しがまだまだ少ないので、これからもっと増やしていきたいです。

小牧市と犬山市の違いやギャップに戸惑っています。文化の違いの大きさがいろいろあって・・・。感じることもいろいろありますが、慣れることも必要なので・・・。

しかし、今日は初心に戻って、授業づくりをはじめている身としては、改めて思いを巡らす意味で、ありがたい講義でした。

頑張るチャンスだと思って、再挑戦します。本日はありがとうございました。

学び合う学びの「しこみ」の部分をビデオで見せていただき、大変ありがとうございました。木村先生のお話は、土台の部分を何度も聴かせていただいているのですが、毎回、新鮮な感じがします。

今回、この時期に聴くことができ、明日からの学級、授業づくりに生かせそうです。

自分自身も同僚と学び合っていきたいと思いました。今日はありがとうございました、

学び合いの作法について、改めて、自分が知っているつもりになっていたんだと思い反省しています。残念ながら、日々の授業の中で、学び合いの作法を学ぶ機会は非常に少ないです。

学び合い＝コの字、市松模様の座席、ペア・グループという言葉しか浮かばない先生が多いのではと思います。

教師が学び合いの基本をもっと学習しなければ、実践に活かすことは難しいのかなと思います。若い先生方の積極的な参加を望みます。自分も声をかけていこうと思います。ありがとうございました。

よかったです。よかったです。よかったです。よかったです。よかったです。よかったです。今日のセミナーでは色々学習できました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことを ひとつ挙げると、「つなげる」です。いろいろな話し合いによって、初心にかえることができた。今まで無意識でやっていたことをあらためて意識付けすることができた。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことを ひとつ挙げると、「学びの作法」です。学びの学級づくり、授業づくりをキーワードで考えることができ良かった。

ただ聞いているだけでなく、グループでいろいろ考える時間があったことは、有意義であった。また、集まったメンバーが異地区の先生であり、当たり前と思っていたことがそうでないことを実感することができ、いい学びになりました。

一番学んだことは、あのビデオです。あのようなビデオは、各学校一本は持っている、先

生方の「年度年始めの学び」につながると思います。とても、貴重なものを紹介いただきありがたく思っております。このセミナーのデータベースとして保管しておけたらと思います。いい学びの時間でした。スタッフならびに講師の先生に感謝申し上げます。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことをひとつ挙げると、「信頼を積み上げるために大切なことを具体的に教わったこと」です。

年度初めに初心に返ることができ、大切にしていきたいことを改めて見直すことができました。子どもから信頼を得られるために、何が必要なのか、何をすべきなのか、わかりやすく教えていただくことができ、とても勉強になりました。

また、グループの先生方の意見をお聞きすることで、新たな視点をもつことができました。

授業づくりにおいても、何となく子どもがやってくれているからと、子どもに甘えるのではなく、しっかりと「ねらい」をもち、力がつくようにしかけをしていくことが大切だと思いました。

本日はセミナーで色々教えていただき、ありがとうございました。今後の授業に生かしていきたいと思えます。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことをひとつ挙げると、「ビジョンをもち、ブレずに一年間子どもとともに成長していくこと」です。

たくさんありますが、やはり大切なのは、ビジョンをもってどこにどう進んでいくかを見極めていくことかなと思います。それは少経験者もベテランも同じです。

そのためにも、「みえる」教師でありたいと改めて認識しました。授業動画について、Gグループから問いかけをしていただけました。問いかけてくださったことで、自分の考えを整理することができました。ありがとうございました。「みえる」教師になりたいということを書いてみます。

- ① 今日の授業動画は、学級の1年の積み上げが「みえる」一コマでした。「この教室が2月までに何を大切にしてきたのか」・認め合いであり聞くことの大切さや楽しさであるのではないのでしょうか。そして、「2月の今、子どもたちの学びがもっとこうなってほしいという教師の願い」・繋がりから生まれる深い学びや文学作品を思い描いて読む楽しさだと想像しました。さらには「この子たちが今度どうなるか」・文学の読みの多様性を自分たちで実感していくようになると予測します。そういう子どもたちの学びが「みえる」ことで、木村先生のおっしゃるデザインもコーディネートもできるようになっていくと思っています。ではどうするとそれがみえるようになるか、それはビジョンをもって進む経験と、リフレクションしかないのではないかと考えています。
- ② 教材が「みえる」ようになりたいと思えます。本日読んだのは「モチモチの木」の一場面です。児童がまず出してきたのが「じさまあ」のところでした。それがどれだけ素晴らしいことか。ここは今後の展開につながる大事な文章だと私は思っていて、先生もそれがしっかりと教材研究されていたに違いないと思います。子どもは大事な文章をしっかりと見つけています。「あわてている」や「申し訳なさそう」と語っていますし、それは間違いではありません。でもそれだけではこの物語の展開にやや物足りなさも感じます。豆太は臆病なんです。外にあるせっちゃんに行くのが怖くてたまりません。それなの

に夜中に目を覚ましてしまうのです。そのときの「じさまあ」という豆太の様子をもっと思い描いてほしかったから、先生は読みに戻し、そこを取り上げたのでしょう。臆病な豆太がこの先どうなるか、読んでいただけたらこの場面の重要性に気づいて頂けると思います。教師が大切な文を提示するのではなく、子どもが見つかる、そしてそこを深め、次につながるような読みを子どもがしていく・・・教材がみえていないとできないことだと思います。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことをひとつ挙げると、「学び合い学ぶのは子ども。子どもの筋で考え、すべての子どもの学びを保障する。子どもとともに私たちが学びの事実からともに学ぶ」です。

木村先生ありがとうございました。初心に立ち返り、新鮮な気持ちで学びました。今日もたくさん「縁」に学び、幸せでした。これまで積み上げてきたことを想起し、学び直し、価値づけする機会になりました。木村先生から繰り出される巧みな「技」「業」の数々からも学びました。平和な教室・授業・学校を創り上げてきたたくさんの思いや実践に感謝し、大切なことをいつも忘れないすてきな仲間とつながり続けていようと思いました。これからもどうぞよろしくをお願いします。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことをひとつ挙げると、「学び合いを成立させていくためには、教師自身のビジョンと、それに向かって進むための具体的な手立てが不可欠であるということ」です。

学び合う学びを「話し合う活動ありき」とか「教え込んではいけない」などと捉えている教員が、私の周りにも意外に多くいらっしゃいます。確かに従来の一斉指導や、情報伝達型とか非参加型と呼ばれる学習とは全く違う授業や学級を目指すものではありますが、基礎的な部分についてはしっかりと押さえていくことも必要だと考えています。今回、私の学校から初めて若手教員が参加したのですが、終了後、「視聴したビデオに示されていたように、授業や学級経営において、様々な教師の企てや働きかけが必要であることがよく分かった」と伝えてくれたことをとても嬉しく思いました。

また、グループでは他地域の先生方と交流することができ、自分自身のモチベーションを高めることができました。ありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことをひとつ挙げると、「教室は学力形成と人格形成の場であるという視点」です。

木村先生のお話の中にあった「生徒は教師と信用しているが、年度当初に、信頼はしていない」という言葉は衝撃的でした。信用と信頼は別物であり、信頼を積み上げるために何をしなければならぬかと改めて考えることができました。学び合う学級づくりの視点(3R)、学び合う授業づくりの場面「デ・コ・リ」などこれからの学級づくりや授業づくりにおいて大切なことのご示唆をいただきました。自分の中では、学びの作法のビデオはなかなか見られるものではないので、とても勉強になりました。最初から最後まで初心に戻って学ぶことができました。